



令和7年度 学校だより

丘の学び舎

所沢市立上新井小学校
1月号
児童数 787名
校長 伊藤 公雄

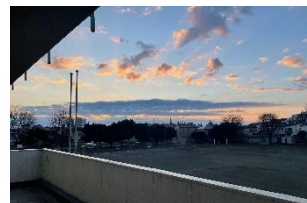


＜一年の計は元旦にあり＞



あけましておめでとうございます。
今年は、快晴とはなりませんでした
が、初日の出を校舎に映し、一層の輝
きを増している上新井小学校です。

今年の干支「馬」にちなんだ格言や
ことわざは数ありますが、「馬の耳に念仏」を取り上げ、子供
たちをさらに伸ばしていきたいと誓いを新たにしました。



晴れてはいるのですが、雲が！

■ヒトは関わりの中で人間になる

ある本を読んでいて、昔のノートにメモ
がある名言かのように、頭に浮かんだ言葉
です。Copilot に聞くと、哲学者カントの教
育観に基づく考え方ではないかとあり、そ
の説明も加えてくれました。

学びの場である学校では、教科書にある
学びだけではなく、人間関係も学んでいま
す。私たちは、教室が子供の居場所になる
ように、日々の指導に当たっていますが、
トラブルは必ず起きます。その解決、解消
に向けて、子供に寄り添っていくことは大
切です。このような時に、教職員だけでは
なく、家庭や地域の大人も一緒になってい
けたら、子供にとっての安心につながるの
ではないでしょうか。

いったんは距離を取りつつも、時間とと
もに、水に流す、許すことも大事ではな
いでしょうか。忘れるとは少し意味合いが異
なりますが、「忘れない」は、辛さばかりが
記憶に残ってしまうのではないのでしょうか。

『思考の整理学』（外山 1986）の中で、知
識の整理整頓のため、記憶と忘却の両面が
大切と述べています。

最近、忘れっぽくなった自分の励みにな
るとともに、ふと上記の言葉がひらめき、
考えてしまいました。

（一部、Copilot の力を借り、作成しました。）

（例文はこうでした）外山滋比古は「忘却は思考を整理するために必
要」と述べています。人間関係でも同じです。嫌なことを引きずらず、
心を整理して前に進むことが、友達との絆を深める第一歩です。

■タブレット端末の入替（参考：[学校文書](#)）

1人1台の端末が新たに貸し出されます。
この入替に伴い、操作に戸惑う子供もいる
ことと思います。手軽な情報端末としてタ
ブレット等が学習だけではなく、生活全般
に使用されるようになっていく昨今、機器
の活用能力を高めていくことは大切です。
あわせて、その根本となる情報モラルやリ
テラシーの向上も忘れてはいけません。

学校では、このような機会を捉え、指導
をしていこうと考えています。

ところで、この先10年後の教室はどう
変化していくのでしょうか。また、20歳
前後になっている今の子供たちは、どんな
端末で生活しているのでしょうか。

技術の革新に追いついていかないといけ
ませんね。

→[回答フォームへ](#)

■自転車ヘルメットの着用を■

低学年では着用率の向上が見られるも
の、学校全体としては、8割を割り込む
ほどの減少との調査結果となりました。

これは由々しき事態であると重くとら
え、繰り返し声かけをしていく必要性を
感じています。

大人からの注意、とくに保護者からの
注意は、いっそう効果的ではないでしょ
うか。ご自分のお子さんがケガをする前
に、ぜひ一言声かけをお願いします。

学校と家庭が一緒になって指導をして
いきたいです。